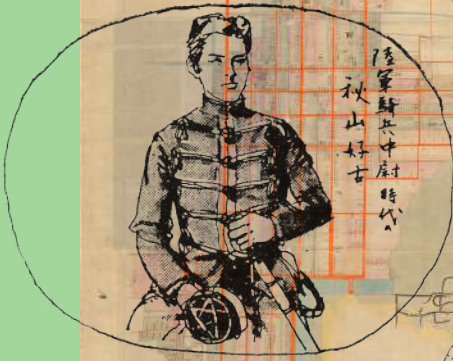


第18回企画展テーマ展示

# あじは、 何かに なろうか

『坂の上の雲』にみる明治の気分



学問は一流  
根気が二流



2025年3月12日(水) ~ 2026年2月15日(日)

休館日：月曜日(休日の場合は開館) 開館時間：9:00~18:30 (入館は18:00まで)  
観覧料：一般 ¥500(¥400) 高校生 ¥250(¥120) 高齢者(65歳以上) ¥250(¥200)  
\*中学生以下は無料 \*()内は20名以上の団体割引料金 ※2025年3月31日までは旧料金が適用されます  
〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL089-915-2600 FAX089-915-3600  
<https://www.sakanouenokumomuseum.jp/> E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp

坂の上の雲ミュージアム  
SAKA NO UENO KUMO MUSEUM



# あいは、何になろうか 『坂の上の雲』にみる明治の気分



秋山真之旧蔵「帽子」(愛媛県生涯学習センター所蔵)



秋山好古陸軍少尉時代写真  
(個人蔵)



正岡子規ほか写真 明治16年9月2日  
(松山市立子規記念博物館所蔵)



正岡子規旧蔵「従軍カバン」  
(松山市立子規記念博物館所蔵)



正岡子規旧蔵「仕込杖」(一般財団法人子規庵保存会所蔵)



秋山好古旧蔵「手袋」  
(愛媛県生涯学習センター所蔵)

挿絵/原画: 下高原健二(石川武美記念図書館所蔵)  
〔陸軍騎兵中尉時代の秋山好古〕は複製  
表面「松山市街全図」明治15年  
(愛媛県立図書館所蔵)



秋山真之・久敬・貞写真(個人蔵)

近代国家として歩み始めた「明治日本」では、社会や制度の変革により、多くのひとびとに新たな道が拓かれます。秋山好古・真之、正岡子規の三人の若者たちは、激動の時代の中で強い昂揚感を抱き、「自分はこの道を進むべきか」を自問自答しながら、数々の挑戦や挫折を経験し、自らの進むべき道を見つけていきました。

今回の企画展では、青少年期の三人の主人公が、自己の確立を求めながら成長していく姿から、小説『坂の上の雲』にみる明治の気分を表現します。

※会期中、資料の展示替えをおこないます

## 坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UENO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600  
E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:https://www.sakanouenokumomuseum.jp/

- |      |                            |                 |             |
|------|----------------------------|-----------------|-------------|
| アクセス | ・JR松山駅から [所要時間約10分]        | 市内電車(道後温泉行)——   | 大街道下車——徒歩2分 |
|      | ・道後温泉から [所要時間約10分]         | 市内電車(全線)——      | 大街道下車——徒歩2分 |
|      | ・松山空港から [所要時間約30分]         | リムジンバス(道後温泉行)—— | 大街道下車——徒歩2分 |
|      | ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分] |                 |             |

